

自己実現 2022

兵庫県立神戸高等学校 進路指導部

【いよいよ夏季休業】

今日で1学期期末考査が終了しました。4月からの3ヶ月でみなさんは「基礎基本の定着」に努め、実力を蓄えてきたはずです。この夏季休業中は、それが本物かどうか確かめる絶好の機会です。暗記事項を完全に脳に定着させるために時間を掛けて反復して記憶し、問題演習に取り組んでください。ただし、この時期にいきなり大学の二次試験の過去問などに手をつけるのは効果が薄いです。「基礎基本が定着」したと自分で胸を張って言えるようになってはじめて、過去の入試問題に挑むのです。みなさんはまだまだ発展途上です。知識が不十分なままで難しい問題にチャレンジしても、いたずらに時間を失うばかりで実りが少ないです。誰も解けない難しい入試問題が解けることより、誰もが解ける問題を確実に得点できることが合格へつながります。また苦手科目克服の絶好のチャンスでもあります。この夏休みを「実りある」ものにするためにも、三者面談でじっくり今後の方向性を確認し、「羅針盤」等で各教科からのアドバイスを確認し、夏季補習等に積極的に取り組んで、「第一志望への強い信念とそれに見あうだけの学力」を身につけましょう。

なお、1学期の節目にあたり各クラスで教室の環境整備を十分に行ってください。教室は三者面談や夏季補習に使用されるので、終業式迄に教室内の私物を持ち帰りましょう。

【第2回実力考査教科・科目別講評】6/14, 15の実力考査の講評をよく読んで！

<国 語>

平均点は解答プリントに記載の通り。第1回実力考査と同様、文系・理系で現代文の得点率に大きな差はなく、点差が開いたのは、やはり古典分野である。理系は、授業数が少ない分、いかに古典分野の復習に時間を割けるかにかかっている。もう一度基礎を見直し、夏が終わるまでに完成させよう。

すべての大問について言えることとして、①設問をよく読むこと。設問条件の見落とし、問いに対する答えになっていない答案が目立つ。②傍線部は、前後の文脈も確認すること。傍線部しか見ていないと思われる誤答が多すぎる。そしてもちろん、③傍線部自体をきちんと読むこと。傍線部は何を言っているのかの分析が、すべてのスタートラインである。

㊦ **評論** 哲学というジャンルであったが、具体例が非常に多く、【Ⅰ】・【Ⅱ】で話題が

ははっきりと分かれており、読みやすい文章であったはずだ。問四はキーワードに着目できれば平易な問いであったにもかかわらず、解答の根拠となる箇所が少し離れると正答率が下がるのが気になる。記述問題は、問三が文章【Ⅰ】の、問五は【Ⅰ】【Ⅱ】全体の読解を問うものであったが、傍線部直前・直後そのまま引き写したような答案が多かった。何が問われている設問であるのかを常に意識していこう。

㊦ **小説** 戦中・戦後の混乱期を描いた二つの文章を出題した。戦争は非日常の極地であ

り、内面描写が多い題材であったことで読み取りにくく感じた生徒も多かったと思われる。とはいえ、何らかのきっかけがあって、登場人物の心情が変化し、行動するという小説読解の基本が完全に身につけていないように思われた。なかでも、傍線部からかけ離れた場面の内容を根拠とした答案が目立った。共通テストでも場面の読み取りミスを突いた誤りの選択肢は定番であり、傍線内部や傍線部付近の内容には注意を払おう。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

<ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現 2022』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。

三古文 故事や和歌を踏まえた技巧的な文章であったが、登場人物も少なく、単語・文法ともに難解なものではなく、読み取りやすい内容であった。後半部分の内容・和歌の読み取りができておらず、問四以降で大きく失点した。参籠している時に見た夢を未来の予兆とする話（古文単語テキスト p334 参照）や、有名な北野伝説が引用される話が多い。本文を丁寧に読むことが肝要である。単語・文法・和歌の修辞も繰り返し覚えよう。

四漢文 二つの挿話から登場人物の人物像に迫ることを目標に出題した。句形や文体として複雑な部分はなく、注や各設問を頼りに読み進めていけば、大きく崩れることはない難易度である。差がついたのは、**B**の文章の読み取りである。「罷」「辞」という文字を誤読して、官を退いたと考えてしまった生徒が多くいた。「明説漢文」の p116 以降の内容を参考に、これまでの学習で断片的に身につけた頻出の漢字に関する知識を改めて整理しておこう。

＜数 学＞

今回から、大問中心の出題となりましたが、それぞれが小問に分かれています。問題全体の流れを意識しながら作問しています。一つ一つの問題に対して、繋がりやヒントが隠れていないかを意識しながら、いかに取り組めたのかが大切です。合計点数だけに注目せずに、自分の答案をもう一度見直してください。落ち着いて取り組めていたら、正解できていた問題もあるはずです。公式を正しく覚えていれば解けた問題もあるはずです。細かな講評については既に配布した詳解を確認してください。入試で頻出な項目も多く出題されています。ただ試験を受けただけにならないように、しっかりと復習をしましょう。

全体を通して気になったのは、計算ミスです。全体の得点に大きく影響します。また、基本的な式の扱いや変形でのミスも見られます。限られた時間の中で、早く正確に解答していく力をつけていきましょう。あと、記述については必要な文章と式を過不足なく、記述できるようにしましょう。

3 年生になり演習授業も少しずつ増えてきました。新しい内容を学習していくのではなく、問題にどう対処していくのかその解法を考える必要があります。授業を通じて様々な解法を身につけていきましょう。予習も復習もせずに授業を受けていても実力はつきません。しっかりと自分で考えて、最後まで問題を解き切っていく過程の中で、計算力、思考力、答案作成能力（正しい記述をする力）がついていきます。練習あるのみです。

※本番の入試では解答用紙の裏に解答を書くことは許されていません。スペースに収まるように字の大きさを考えましょう。それと悪字・判読不能な字がよく見受けられます。判読できない文字・記号・数字は相手に読んでもらうという姿勢が欠如していると思われる方も仕方ありません。そんな答案は見てもらえないので平素から丁寧さを心掛けましょう。

＜英 語＞

今回の実力考査は、全体が実力問題で構成される初めての考査であった。内容としては、大問【1】～【3】が長文で、【4】～【7】が文法、【8】が和訳、【9】【10】が英訳という構成で、長文 100 点、文法・和訳・英訳で 100 点の 200 点満点といった、バランスを考えた問題だった。

全体の平均点を見ても、解答用紙の仕上がり具合を見ても、多くの人にとって時間の厳しい考査であったことは明らかである。実力考査の試験形式は、形式、レベルともに、

＜保護者の方々にも読んでいただきましょう＞ ＜ご意見・ご質問をお寄せください＞
『自己実現 2022』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。

国公立大学 2 次試験を意識した物であるが、今回の考査の結果を得て、この夏にどういう力をつけなければならないのかを、しっかりと確認するきっかけにしてほしい。受験で必要な英語力とは、制限時間内に解くことができる英語力である。なぜ問題を解くのに時間がかかったのかを考えることから次の学習を始める必要がある。

前半の長文に時間がかかり、文法・和訳・英作に時間が使えなかった人は、自分の文法力がなくて正答できなかったのか、時間があってもできなかったのかよく分析をすること。全体的な傾向から、語彙力の不足、文法力の不足は明らかである。この夏の計画を立てるときに、語彙と英文法の勉強に力を注ぐようにすることが必要である。

この、国公立 2 次をベースにした形式で次回の実力考査も行われるが、そこで点数が取れるように、夏休みに勉強に取り組んでほしい。英語の安定が、君たちの合格のカギである。

〈物 理〉 物理講評 【理系、総理】

①（力学）は標準的な問題である。小球と動く台との衝突における運動について、運動量保存法則と力学的エネルギー保存の関係から考えられるかを問うた。②（熱）はシリンダー内のピストンについて、力のつり合い式や気体の状態方程式を立て、ピストンの運動の状態変化で気体の法則や熱力学第一法則から考えられるかを問うた。③（電気）はコンデンサーの電場、電気量、電圧の関係から仕事、力、静電エネルギーやジュール熱などを求める問題で、力、仕事やエネルギーの関係を理解しているかを問うた。③は得点率が 2 割台と低い、①と②についても 3 割台と低調であった。類似問題を解いて要点を押さえる必要がある。①の力学分野については、はね返り係数の式や運動量保存則や力学的エネルギー保存則について、小球と台の運動の条件を把握して式を立てることができるようにしたい。②と③の熱や電気分野でも力学（力・仕事等）に関係した問題がまだよく理解されていないと考えられるので、熱力学・電磁気学についても力学に関連させて式を解いて解けるようにしたい。今後も各分野の問題演習にしっかり取り組んで、着実に解けるようにしたい。

	得点率 %			平均点
	①	②	③	
全体	30.3	36.3	23.8	30.0
普通科	26.3	31.4	19.3	25.5
総合理学科	48.9	58.9	44.6	50.5

物理基礎(総合物理)講評 【文系】

主に力学分野の基本から応用問題を出題している。基本問題は概ねよく解けているが、見慣れない問題になると正答率は大きく下がった。特に、②，③のような長いリード文から問題の流れを汲み、適切な立式をおこなう、思考の展開をするといった問題にも慣れたい。とはいえ、現時点で基本的な問題を取れていれば、共通テストまでに応用問題に取り組む余裕は十分ある。いま、自分にとって弱い分野は何かを改めてふりかえり、夏休みの学習の隙間時間に取り組む程度の勉強計画を立てておこう。

<化 学> 化学講評 【理系、総理】

平均点が予想よりも大幅に低く、理論分野の復習が進んでいるかどうか心配となった結果であった。化学は 9 月末頃まで新しい分野を次々と学習していき、授業の復習のため、週末課題や小テストを実施している。この実力考査は、2 年生までに化学を丁寧に学習し、春休みに自分なりに復習をすることができたかどうか反映されている結果であろう。面談をしていると、理論分野の復習をし始めているという声がほとんどである。期末考査後から夏休みにいかに計画的に復習できるかが化学を得点源にしてくために必須である。国公立二次対策となる発展的な思考を要する問題に、秋以降挑戦するためにも夏までにニューグローバルとチェック&演習を活用して基礎力を付けたい。理科を得意とし、既にある程度の基礎力がついている人は重要問題集にも挑戦し始めよう。

化学基礎(総合化学)講評 【文系】

全問について、大学入学共通テストに出題されそうな思考力・判断力を要する出題とした。すべてについて、完答できるように復習をしておいてほしい。特に、誤答の多かった問題は、1 問 1 (身近な物質の利用の正誤問題)、問 3 (熱運動の分布のグラフ)

2 問 4 (モル濃度、%濃度の水溶液の調製法)

3 問 1 (混合気体の燃焼における空気の必要量の計算)

4 問 2 (酸化還元滴定の終点での色の変化)、問 3 (塩酸、硝酸を使用してはいけない理由)、問 4 (滴定結果からのオキシドールの濃度の計算)

であった。これらの問題は思い違いをしやすく、ミスを犯しやすい問題で、過去の受験生もよく間違えていた。これらは出来不出来の差がつく問題、つまり合否を分ける問題である。特にしっかり理解しておけば、本番の入試において高得点が望めるであろう。

<生 物> 生物講評 【理系、総理】

今回のテストは、論述が全体の 1/3 を占め、中でも①の実験考察の論述に時間を取られた生徒が多かったようで、大問 4 問中、前半 (①、②は正答率 32%、33%) に比べ、後半 (③、④は正答率 27%、21%) の正答率が低くなっている。特に④は遺伝子発現の標準問題で、選択形式なので点数が比較的取りやすかったはずだが、未解答の答案が多かった。問題の順番を考えて解く力も身につけてほしい。また、知識問題だけ解答し、考察問題を避ける答案があり、大変残念に思った。生物は共通テストも二次試験同様に「考える力」を問う問題が多く見られる。実力テストを通して、長いリード文を読みこなし、既習の知識を使い「考える力」を身につける努力をしてほしい。

②で出題した免疫は「生物」でもタンパク質の問題として出題できるので、要注意である。基本的な用語の整理、抗体の多様性や獲得免疫のしくみは必須である。③で出題したようにメンデル遺伝は、他の分野の問題と共に出題される傾向にある。夏休みを利用し、遺伝および遺伝子発現の分野をマスターしておくように！

生物基礎(総合生物)講評 【文系】

①(正解率 57%)は、細胞周期の頻出問題であるが、問われている意味を理解していないと、(2)や(3)のような問題ができないので、注意すること。②(正解率 32%)では酸素解離曲線や腎臓の計算問題ができていなかった。基本的な計算問題なので、是非マスターすること。また、腎臓の構造やホルモンの名称など、基本的な知識問題の復習も併せて行うように。今回のテストで最も正答率が低かった③(正解率 22%)の免疫の問題は、基本事項ができていないので、早い時期の復習が必要である。自然免疫、獲得免疫のしくみを流れて理解するように！

<世界史>

文系平均 40.5 点 理系平均 44.4 点 最高点：94 点 最低点：13 点

今回の考查では、既習範囲から二次試験を意識した論述問題 2 (理系 1) 問と共通テストを意識した正誤問題・文理とも 35 問、一問一答式問題 20 問を出題した。実力考查なので、史料の読解や複合的な知識や歴史の流れを問うたりしたが、現段階では全般にまだ低調で、基礎知識が不足していると思われる。世界史の取り組みとしては、夏休み後半あたりから本格的に行う必要があると考えるので、第 3 回実力考查ではその成果を期待している。

教科書を精読し、歴史の流れを理解し、同時代の出来事や関連にも注目しつつ、史料や写真・地図・図表などもしっかり見ておく必要がある。

<日本史>

平均点 45.9 点 原始・古代を 4 割、近現代を 6 割で、共通テスト問題に準じた正誤問題、私大問題に準じた一問一答問題、国公立大学二次問題に準じた簡単な論述問題等を出題しました。難易度は基礎基本から難解な問題も出題しましたが、特に今回は受験生の最も苦手とする近現代の文化史(芸術・文学分野)を多く出題したので、かなり苦戦したように思われます。また、基礎基本問題も間違っている生徒も多数いました。社会科は今からが勝負です。夏休みを利用して、まずは教科書の基礎・基本事項を復習していきましょう。

<地 理> 平均点 48.3 点

2 年次の最初の自然地理の内容の場所が理解できていないようです。

世界の大地形と気候は必須です。考え方は大陸の東岸か西岸か、緯度は高いか低い、大山脈の風上か風下か、など、大陸がどこであろうとほぼ同じ現象が発生する＝同じ気候帯に属するというのを理解しているかどうかです。問 6 のように、世界地図においてフィヨルド地形かリアス地形かを理解する問題も、世界の至る所にこの地形は存在するので、高緯度に位置するものはフィヨルド(何故なら氷河の影響を受けているから)中低緯度ならリアスであることが自然とわかるようになってもらいたい。問 21 は、完全にひっかけの問題。南米＝肉牛から冷凍船と答えたと思われますが、よく見るとアマゾン流域であるので開発は新しいはず。基礎基本をしっかり覚えることも大事ですが、これまで学んできたことからそれを応用して総合的に判断する力も必要です。これはこれから演習問題を繰り返すことで出ていくので大丈夫です。

■まとめ

『成績のいい人はテストの見直しをしている……』

テストは結果ばかりをみるのではなく、間違った問題を必ず見直しをすること。間違い直しは最も効率のいい学習法です。見直しをしないのはとても損をしていることに気がつかない人は次のテストでは残念な結果に終わるかも…。わからないところは先生に質問してください。

[大学入学共通テストへの準備について]

大学入学共通テストは、現役生は個人ではなく在籍高等学校経由で一括出願することになっています。出願方法や注意事項等の詳しい説明は、**9月2日(木)のLHR時に学年集会**で行う予定です。また、出願書類(大学入学共通テストでは「**受験案内**」と呼んでいます。)は、最寄りの大学(神戸高校は神戸大学)より74回生全員分を取り寄せます。夏季休業中に申請や手続きが始まるものについて確認しておきます。

英語リスニング「イヤホン不適合措置申請」について

英語リスニングで使用するイヤホンが耳の形に合わず装着できないために、試験当日ヘッドホンの貸与を希望する場合は、「イヤホン不適合措置申請書」を下記の方法で入手し、最寄りの大学入試センター試験参加大学の入試担当窓口で確認の署名をしてもらった後、志願票の所定の欄に貼り付けて出願しなければなりません。イヤホンが自分の耳に合うかどうか不安を感じている人は、**進路指導部(松井先生)**のところまで来てください。今年の現物がありますので試しに装着できます。

[申請書の入手方法]

①「大学入試センター」のHPからダウンロードする。②進路指導部先生(職員室)の所へ行く。

[夏季休業中の教室等の使用について]

大半の74回生は、部活動ではなく三者面談、夏季補習、自習で登校することになります。他への配慮の気持ちを忘れず、エネルギー節約にも気を配り、お互いに気持ちよく学習活動が行える環境作りに協力しましょう。下記の注意事項を熟読してください。

- (1) 自習教室:指定された場所(教室掲示)でのみ行う。面談などで使用されることもあるので、注意する。
- (2) 進路指導室自習可能時間帯:原則平日の8:20~17:00(下校時刻厳守)
- (3) 校舎への出入り:平日は生徒昇降口
- (4) 各自でゴミの処理など教室の環境整備や、戸締まり・消灯に心掛ける。
- (5) 貴重品の管理は、各自が厳重に行う。
- (6) 夏季休業中の様々な連絡は、**職員室前日番連絡黒板**にて行います。

■7/15(木)LHR(5限)学年集会にて、「夏休みに向けて…」と題して各部署からお話があります。参考にして悔いのない夏休みを…

[後記] いよいよ人生で一番勉強する夏休みが始まります。大人になっても今年の夏休みのことはずっと忘れられないことでしょう。全力で、記憶に残る濃密な夏休みにしてください。自分が今まで受けてきた定期考査・実力考査・模擬試験で弱点を知り不得意分野をじっくり攻略できる時期です。難しいことを手掛けてあせるのではなく“鬼の反復”で圧倒的な基礎力を確立しましょう、ただ無理をして体調をこわすと、逆に時間をロスしてしまうので、限界に注意しながら自分のできうる限りの範囲で頑張りましょう！成果は秋以降に出てくるので焦らずじっくりと取り組みましょう。

＜保護者の方々にも読んでいただきましょう＞

＜ご意見・ご質問をお寄せください＞

『自己実現2022』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。